

## 審判基本注意事項

### 【全体】

1. グラウンド内では走って下さい。
2. コール時必ず止まって、大きな声を出して下さい。
3. 自信を持ってジャッジして下さい。
4. ダブルジャッジにならない様、他の審判とアイコンタクトをとるようにして下さい。
5. 他の審判がタイムを掛けた場合は、大きな声で同調して下さい。
6. 試合中、スマホや携帯の使用はしないようにして下さい。
7. 試合前、試合後、球審を中心に塁審、控え審判とミーティングを行って下さい。  
試合前：グラウンドルール、ポジショニング等を再確認して試合にのぞむ事。  
試合後：試合を振り返り、良かった点、悪かった点を確認し合う事。

### 【球審】

1. 審判用具はしっかり着用して下さい。
2. 第一試合の球審は、第一試合のチームの方々とグラウンド作成を行って下さい。  
※球審が指示をだす事。
3. 試合開始予定時間の30分前になったら、本部にて試合を行う両チームへ、試合の注意事項を説明し、先攻後攻を決めて下さい。
4. 前の試合が早く終わった際には、両チームの監督と整合し、試合進行（試合開始時間）を早めて下さい。

### 【塁審】

1. 服装  
チーム内で準備されている場合は、審判服を着用して下さい。  
但し、身なりには気をつけて頂き、上着はしっかりとズボンの中に入れて下さい。  
ジーパンや、ショートパンツ等、審判にふさわしく無い服装では行わない事。  
ロング丈のベンチコートも不可とします。
2. 立ち位置  
ランナーがいる時、いない時の立ち位置を変えて、ジャッジしやすい（見やすい）立ち位置にいる事。

### 3. セット

ランナーがいない時はスタンディング（腕を組んだり、足を交差したり）

ランナーが一人でも塁上にいる時は、ハンズオンニーズ。

- ・ピッチャーがプレートに足を踏み入れた時点で、ハンズオンニーズ
- ・一塁、三塁塁審はピッチャーに正対、二塁塁審はバッターに正対
- ・二塁塁審が中に入る時はセカンド側

### 4. ラインキープ

ラインに近い打球に関しては、必ずラインキープをしてジャッジして下さい。

### 5. 外野飛球の責任範囲

- ・二塁塁審が外にいる時
  - ▶左中間、右中間は二塁塁審
- ・二塁塁審が中にいる時
  - ▶二塁塁審は外野飛球を追わない

### 6. GoOut（ゴアアウト）

外野飛球を二人で追わないよう、GoOutの掛け声と、他の審判の動きに注意しましょう。

### 7. サイン（シグナル）

インフィールドフライが適用となる場面時、球審が胸に手を当てますので、各塁審はアンサー（了解）の意味で、同様に胸に手を当てて下さい。

## 【控え審判】

### 1. 時間管理

プレイボールでプレイスタート

守備側選手に水分補給をさせる為、守備時間が15分を経過したら、球審に伝えて下さい。

### 2. カウント、得点、投球数管理

カウンターで、カウント、得点の管理を行う事。

投球数の確認を、両チームと行う事。

投球制限数が残り、10球を目安とし球審に伝えて下さい。

※投球数の確定（八野連ローカルルール）

両チームと控え審判の三者で、投球数が異なった場合

- ▶二者が同一である場合はその投球数を採用
- ▶三者とも異なった場合、控え審判の投球数を採用

以上